

中国業務通説

新型コロナ肺炎（COVID-19）は何だったのか

2019年末に中国の武漢で発生が確認された新型コロナ肺炎（COVID-19）はまたたく間に全世界に広がった。新型コロナは嵐のように吹き荒れたが、発生から4年目となった今年の春ごろから、収まりと落ち着きを見せてきた。いま世界の国々で新型コロナは怖くない病気となり、日本を除く国々では発生前の日常生活が戻りつつある。

新型コロナ発生から2年を経て、世界の国々はファイザー社、モデルナ社などが開発したmRNAコロナワクチンに群がり、頼った。コロナワクチンは発売直後から効果と副作用が大きな議論を生んだ。コロナワクチンに効果を認める人は接種を望み、効果を認めない人は接種を拒んできた。接種するもしないも自己責任だ。

私と私の家族はコロナワクチンを接種せずに、新型コロナが吹き荒れた4年弱を生き延びた。私がコロナワクチンを接ししたいとの結論に達したことに医学的知識は全く要らなかった。私には自民党政権の言いなりにならないことが自分と家族の生命と財産を守ることになるというゆるぎない信念がある。自民党政権が国民のためになる政策を行ったことは一度も無いのだ。よってコロナワクチンは接種しない、マイナンバーカードは取得しない。自民党政権の言いなりになった東芝は、政権に奔走され、ついには経営破綻した。自民党政権の言いなりになり三菱重工は民間ジェット機の開発を試みたが、ものの見事に失敗した。三菱重工は開発費1兆円をドブに捨てた。

いままコロナワクチンの有効性に関する議論は続く。自民党政権、日本医師会、マスコミはコロナワクチンの有効性、必要性しかいわないので、彼らのコロナワクチンに関する情報は全く信じるに値しない。彼らにとりコロナワクチンを接種することで何らかの見返り、利益が得られるので、新型コロナが終息したら困るのだ。財務省資料によるとコロナワクチンを接種する医師の時給は18万円だった。日本だけが先月9月20日からオミクロン株 XBB.1.5 に対応した新型コロナワクチン接種を始めた。この新型コロナワクチンはネズミで治験を行っただけで、人間での治験を行っていない。そのような新型コロナワクチンを日本だけが他国より先行承認をして、集団接種を始めた。政府の計画通り接種を受けていたら、今回で7回目の接種となる。コロナワクチンを7回接種する国は日本だけだ。世界各国はいまやコロナワクチンにも、マスクにも頼らず。日本人だけがコロナワクチンとマスクにすぎる。

コロナワクチンに対する否定的、批判的な意見を4つお届けする。日本のマスコミがこれらの情報を伝えることはない。

その1： Heavenese（ヘヴニーズ）は2022年5月にコロナワクチン接種を風刺した歌、替え歌「命がけだよ お注射は」をYouTubeにアップした。元歌は1976年に小野由紀子の歌った「浪花節だよ人生は」だ。

しかし、この替え歌映像はすぐに削除された。自民党政権が削除を求めたのだろう。いまYouTubeにコロナワクチン批判の映像をアップすると即座に削除されてしまう。YouTubeでは削除されたが、ニコニコ動画、Ruble動画でこの映像を見ることが出来る。

自民党政権がこの替え歌を人々に聴かせたくないのは、この替え歌に影響を受けコロナワクチン接種を拒否する人々が出ることを恐れているからだろう。自分たちのやっている政策が正しいという自信があれば、このような替え歌を恐れる必要はないだろう。下記にアクセスください。



<https://rumble.com/v13z8u3-youtube-bannedheavenese.html>

1 番歌詞	2 番歌詞	3 番歌詞
打てと言われて素直に打った 効くと言われてその気になった 嘘のメディアが煽りに煽り よせばいいのに 4 回目 全部あー嘘だよ 茶番だ コロナはただの風邪	打って熱出て苦しみぬいた 医者言うこと信じて打った 免疫下がって病気になっても 国は責任取りません 命がけだよ 注射は 危険だ 治験中	誰が仕組んだ ソロスにゲイツ ファウチ・テドロス みんなグル 人を減らして景気を下げて メディアを手玉に金儲け 早く気付けよ コロナは 世紀の大茶番

その2： 2022年9月7日の鹿児島県阿久根市議会一般質問で竹原信一議員が厚生労働省職員から得た情報として「**コロナワクチンの接種率は厚労省職員10%、国会議員15%、医師20%、国民82%だ**」と発言した。日本では2021年2月17日の医療従事者等を対象とした先行接種からコロナワクチンの接種が始まり、順次、五月雨式に接種の対象、範囲を拡大していった。竹原議員報告は接種が始まってから約1年半後の接種率だ。



厚生労働省はいまままで国民以外のコロナワクチン接種率の公表を拒否してきたので、この報告を受けたマスコミが厚生労働省にこの数値の事実確認を求めた。厚生労働省は肯定もせず、否定もせず。政治の世界で事実確認を求められた情報を政府、政権が肯定も否定もしないときは事実だということ。コロナワクチンに効果があり、安全なら厚生労働省職員、国会議員、医師が率先して接種すべきだろう。自分たちは接種せず、ウソをつき、騙して、事実を隠して国民に接種を煽っているのは、彼らの心の中にコロナワクチンは効果が無く、危険だという認識があるのだろう。危険なコロナワクチンを自分たちは打たず、国民には打たせるってか。下記にアクセスください。

<https://www.nicovideo.jp/watch/sm41457414>

その3： 2023年1月16～20日までスイスのダボスで世界経済フォーラム年次総会（通称「ダボス会議」）が開かれた、毎回、世界各国の政治家、企業トップが集まる。1月19日に独立系メディア Rebel News が、ファイザー社の Albert Bourla CEO に直撃インタビューを行い、放映した。逃げるファイザー社CEOと追い駆けるインタビュアー。下記にアクセスください。

<https://twitter.com/i/status/1615878870791786497>

その4： 2023年1月23日 弁護士北村晴男ちゃんねるの「コロナワクチンに思うこと」。北村晴男弁護士は日本テレビ『行列のできる相談所』のレギュラー・メンバー。「**（コロナワクチンは）十分に安全性は検討されていなかった。運を天に任せたような話。接種は巨大なロシアンルーレットみたいなものだから、私も家族も接種していない。**」と。

註：ロシアンルーレットとは6発の弾丸が装填できる回転式拳銃（リボルバー）に1発だけ弾丸を込め、適当にシリンダーを回転させてから自分のこめかみに向け引き金を引くゲーム。引き金が弾丸に当たる確率、すなわち死ぬ確率、は1/6（16.7%）となる。死を賭けたゲーム。

下記にアクセスください。

<https://www.youtube.com/watch?v=IUqckYU1AR4>

貴方はそれでもコロナワクチンを接種しますか？

横井幸夫（元東レ株式会社）